

マイナンバーをめぐる最近の動きニュース 8・9月号

共通番号制度を考える会・静岡 2020年

マイナポイントに賭ける政府の思惑

「マイナポイント取得のためにマイナンバーカードを作りましょう。」の館ひろしのCMが流れています。20000円で5000円分のポイントがもらえる。期間は9月1日から来年3月までの7か月間。政府は4000万人が申請するとして2300億余の予算を付けました。



いら
ない
のに
無理
に持
たせ
よう
とし
て。税
金の
無駄
使い
だと思
う。

最近テレビでよく見るね。
1人5000円、家族4人で
20,000円ポイントゲット
というやつだね？

予算2300億円の大失敗！

しかし、6月末時点でマイナンバーカードを作った人は約2200万人（17.3%）
これを使ってマイナポイントを申請した人は115万人（予約した人を含めると210万人）
カードを作った人の5.2%です。
政府の失策の最たるものといっても過言ではありません。

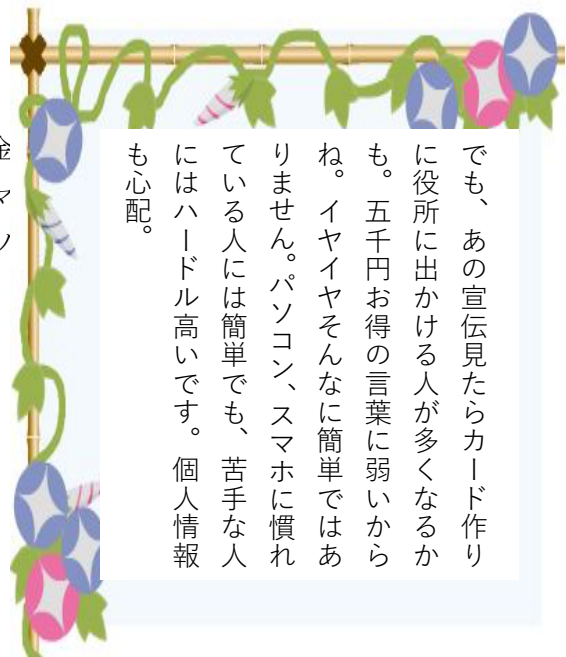
この2300億円コロナ対策に回しませんか。

マイナンバーカード作る人高齢者に多い

2016年に制度が始まり、義務だと思って高齢者の多くがカードを作りました。しかし、定額給付金の申請にオンライン申請を加えたため混乱、またマイナポイントで混乱です。この申請には自分のパソコンを持ち、ネットでつながるか、市町の支援窓口に行くか、スマホでアプリをダウンロードすることが必要です。結局マイナポイント申請者は各種のカードを使いこなす若い人達なのです。カード各社のポイントと合わせ上手に使いこなせる、キャッシュレス順応人口はこの間消費税軽減措置で（キャッシュレス消費で5%、6月末で終了）少し増加して20%です。

この若い人にも官制ペイペイは人気ありません。

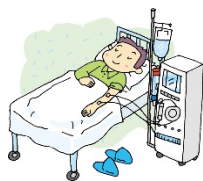
でも、あの宣伝見たらカード作りに役所に出かける人が多くなるかも。五千円お徳の言葉に弱いからね。イヤイヤそんなに簡単ではありません。パソコン、スマホに慣れている人には簡単でも、苦手な人にはハードル高いです。個人情報も心配。



特別給付金で市町が混乱 結果は？

5・6月に「早く給付金がもらえる」とマイナンバーカードを申請する、または電子申請用の暗証番号を再設定するため多くの市民が市の窓口に殺到したことは記憶に新しいと思います。

結局全国で135万人が新規にマイナンバーカードを作りました。(1%強)しかし、郵送のほうが「給付が早い」と切り替えた人も多くいて、政府の目論見は実現しませんでした。「個人情報を読み取られるのでは」との不信感のほうが上回っています。



Go To トラベルや
より医療を支えて欲しい

口座紐付は増税の準備だ！

コロナの終息が見通せない中、政府は国会も開かない、緊急事態宣言も出さないなどダンマリ続きです。「第二波に備えて給付金の支給の為、口座番号提供を義務化」する法案を次期国会で提出する方針ですが、コロナ禍で大赤字の財政立て直しに「口座番号紐付」法が利用されることを許してはなりません。間接税や相続税強化で国民の懐に手を突っ込ませてはなりません。国民のコロナへの関心が強い今、増税の方針は出さないとは思いますがしっかり監視する必要があります。

政策の失敗を説明しないまま、今必要の無いことにお金と時間をかけ続ける政府、ますます信頼できない。どうしよう？まずマイナンバーカードを作らない、政治に関心を持つ、おかしいと思う事に声を上げる、選挙を大切に考える。あとは・・・

保険証とカードの紐付も中止を！ コロナ対策に予算を廻せ！

2021年から22万の医療機関にカードの読み取り機(196億)レセプトのオンライン化(758億)など1000億の大盤振る舞いです。健康保険証にマイナンバーカードを利用させ、顔認証システムを構築しようとする政府の狙いを打ち砕きましょう。コロナ禍で医療体制が逼迫しています。予算は医療体制の立て直しに回すべきです。



コロナと熱中症に注意をしながらの毎日、まさかこんな時代を迎えるとは想定外。
安心して食べる、寝る、働く、学ぶ、遊ぶ暮らしを願う。
賢いお金の使い方したい。